

報告事項

第60事業年度 事業及び会務報告の件

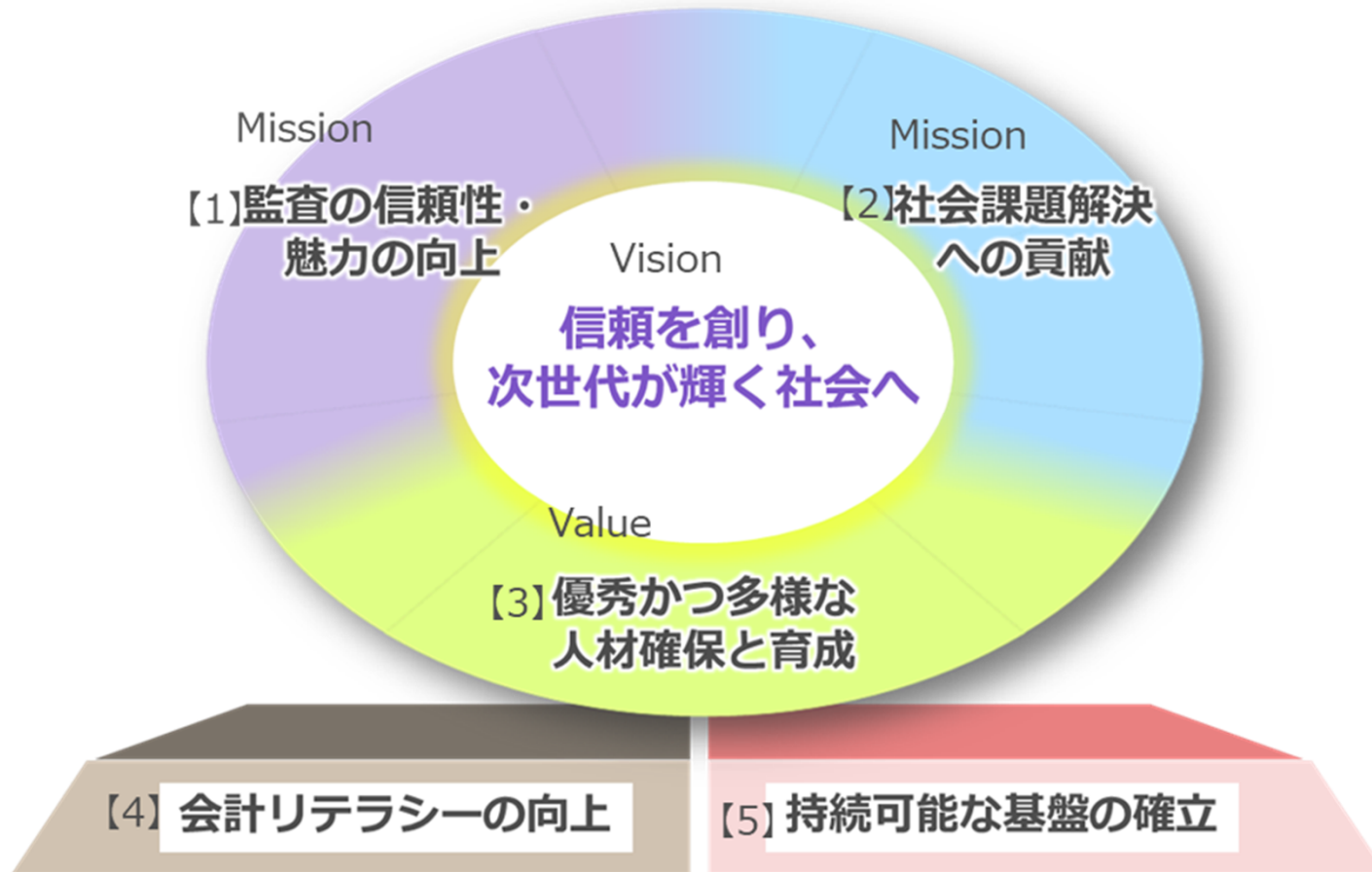
会長 南 成人





I. 5つの経営方針に基づく活動

経営方針



経営方針 1：監査の信頼性・魅力の向上

(1) 上場会社等監査人登録制度の整備・運用

- ◆ 中小規模の登録上場会社等監査人への適切な情報開示の確認・指導
- ◆ 新規上場会社等における会計不祥事をめぐる対応
 - ・「登録上場会社等監査人による監査の信頼性向上に向けた取組」の公表
 - ・「新規上場会社等の会計不正事例を踏まえた監査上の対応について（通知）」の公表
 - ・人的体制に関する要件の引上げを検討・提案するプロジェクトチームを設置
 - ・日本取引所グループ（東京証券取引所、日本取引所自主規制法人）、当協会、日本証券業協会の3団体の連名で「新規上場時の会計不正事例を踏まえたIPO関係者の対応について」の公表

経営方針 1：監査の信頼性・魅力の向上

(2) 中小監査事務所の基盤強化支援

- ◆ 中小監査事務所のデジタル化の強化に向けて、中小監査事務所ITコミュニティを開催
- ◆ IT共同インフラ支援、ITに関する海外動向調査
- ◆ 中小監査事務所代表者との意見交換会、監査品質の向上を目的とした対話型研修会等を実施
- ◆ 「中小監査事務所 就職ガイドブック2025」を公表

(3) 品質管理レビューの高度化

- ◆ 監査事務所の特性に応じた品質管理システムのリスクポイント及び監査業務のレビューにおける項目別の着眼点を明示的に記載するための調書様式を改正
- ◆ 自主的な改善に懸念がある中小監査事務所について往査後の指導実施及び独立性を有する第三者の知見の活用

経営方針 1：監査の信頼性・魅力の向上

(4) 金融商品取引法・公認会計士法の改正を含む開示制度の一層の充実

- ◆ 企業情報開示の効率化・一元化に向けた活動
 - ・ 金融庁が設置している「有価証券報告書の定時株主総会前の開示に向けた環境整備に関する連絡協議会」にメンバーとして参加
 - ・ 日本証券アナリスト協会主催特別セミナー「有価証券報告書の定時株主総会前の開示」に登壇
 - ・ 「上場会社における情報開示の充実化・効率化のための制度整備について（要望）」を公表

上記以外の活動

- ◆ 国際会計士倫理基準審議会（IESBA）議長来日の際、意見交換を実施
- ◆ 会計・監査ジャーナルに「生成AIの可能性と会計監査への活用」についての記事を掲載



国際会計士倫理
基準審議会
（IESBA）議長
の来会

経営方針 2：社会課題解決への貢献

(1) サステナビリティ情報を含む企業情報開示及び保証におけるリーダーシップ発揮

- ◆ 「サステナビリティ情報開示・保証のあるべき姿の検討－サステナビリティ情報の信頼性確保に向けて－」を公表
- ◆ 当協会からオブザーバーとして参加した金融審議会「サステナビリティ情報の開示と保証のあり方に関するワーキング・グループ」からの報告書を公表
- ◆ サステナビリティ保証業務実務指針5000「サステナビリティ情報の保証業務に関する実務指針」を公表
- ◆ 国際サステナビリティ基準審議会（ISSB）、サステナビリティ基準委員会（SSBJ）等が公表する公開草案に対する意見発信
- ◆ サステナビリティ報告及び保証業務に関するIESBA倫理規程の改訂に伴う倫理規則等の改正案を公表

経営方針 2：社会課題解決への貢献

(2) サステナビリティに関する能力開発

- ◆ JICPAサステナビリティ能力開発シラバスの改訂、研修を開催
- ◆ 「JICPAサステナビリティ専門プログラム」の検討（2026年4月から運用開始）



JICPAサステナビリティ
専門プログラム

経営方針 2：社会課題解決への貢献

(3) 非営利・公会計・税務・中小企業支援等の業務を通じた地域活性化への貢献

- ◆ 私立学校法及び私立学校振興助成法の改正を踏まえた実務指針等の作成、関係省庁との意見交換
- ◆ 一定規模を超える社会福祉法人の法定監査の対象範囲拡大検討に関する厚生労働省との意見交換
- ◆ 公認会計士の地方公共団体に対する関与をテーマとしたセミナーを開催
- ◆ 各地域における税務当局との関係の構築、税務業務等に携わる会員に対する支援及び税務業務部会の各分会との情報共有等を実施
- ◆ 経済産業省及び中小企業庁と共催で中小企業支援シンポジウムを開催
- ◆ 経営研究調査会研究資料第12号「上場会社等における会計不正の動向（2025度版）」を公表



中小企業支援
シンポジウム

経営方針 2：社会課題解決への貢献

(4) スタートアップ支援

- ◆ 「株式新規上場（IPO）のための事前準備ガイドブック～会計監査を受ける前に準備しておきたいポイント～」の改訂版を公表

上記以外の活動

- ◆ 「公共サービスを提供する組織におけるガバナンスの在り方について」を公表
- ◆ 税制改正意見
 - － 「令和 8 年度税制改正意見書」を公表
 - － 「令和 8 年度与党税制改正大綱に関する会長コメント」を公表

経営方針 3：優秀かつ多様な人材確保と育成

公認会計士能力開発の一体的な制度設計等の検討

- ◆ 「公認会計士の一体的能力開発に関する報告書（2025）～信頼・憧れ・希望の未来を築くために～」の公表
- ◆ 報告書をベースに施策検討及び推進を行う常設の委員会の設置

公認会計士の一体的能力開発

公認会計士の活動領域の拡大と専門性の深化が進む中で、公認会計士が社会から信頼され続けるためには、環境の変化に適応した継続的な能力開発が必要です。

日本公認会計士協会では、環境の変化に即して、公認会計士試験、実務経験、実務補習及び修了考査並びに継続的専門能力開発に至る一連の過程を通じた公認会計士の資質・能力の一体的・包括的な開発（以下「一体的能力開発」という。）に必要な施策を継続的に検討及び推進しています。

本ページでは、当協会の取組や各種情報についてお知らせします。

- ▽ 1. お知らせ
- ▽ 2. 一体的能力開発に関する報告書等
- ▽ 3. 解説記事等
- ▽ 4. 一体的能力開発に関連する制度

公認会計士の一体的能力開発に関する特設ページ

経営方針4：会計リテラシーの向上

- ◆ 「会計教育の充実に関する要望書」を中央教育審議会に提出
- ◆ 教員向けウェブサイト「会計探究ラボ」を公表
- ◆ 漫画動画「一言のシン」を冊子化



会計探究ラボ



経営方針5：持続可能な基盤の確立

(1) ブランディング施策の充実

- ◆ 「統合報告書2025」の公表
- ◆ 「学研 まんがでよくわかるシリーズ『公認会計士のひみつ』」の作成、全国の小学校等への寄贈、電子版の公開
- ◆ P C等用の倫理宣言の待ち受け用画像を公表、倫理宣言の英訳版を公表



倫理宣言の
待ち受け画像



(2) 関係諸団体（メディアを含む。）との積極的な対話

- ◆ 時機に合ったテーマによる記者会見及び記者向け説明会の開催

経営方針 5：持続可能な基盤の確立

(3) 協会インフラの充実（事務局・ファシリティ・ICT対応等）

- ◆ 協会におけるICT戦略の推進
2027年春頃のシステム切り替えを目指した会員データウェアハウスの構築プロジェクトの推進及び生成AIツール等の導入検討
- ◆ 公認会計士会館のリニューアル工事の竣工引渡し（2026年4月17日に竣工式）

竣工式



(4) 協会の組織・財政の在り方

- ◆ 協会財政・組織ガバナンス改革会議を設置
- ◆ 「協会財政・組織ガバナンス改革会議 中間報告（公開草案）～持続可能な財政基盤の構築に向けた会費制度の在り方の見直し～」を公表



II. 当協会のサステナビリティ関連の情報

サステナビリティに関する当協会の取組

- SDG宣言(2021年策定)：3つの柱【経済】【社会】【人・環境】と重点項目を定め、具体的な取組・アクションプランを公表しており、監査・保証、倫理、企業情報会計等の取組へのサステナビリティについての記載や、非営利組織の共通した会計基準となるモデル会計基準の記載等のアップデートを行った。

(1) 多様性への取組

- 推進法の施行に伴う、女性の活躍の情報に関する項目を公開（2026年3月末時点）

- ①採用した労働者に占める女性労働者の割合
正社員29.2%・契約社員及びパート0%
- ②管理職に占める女性労働者の割合 19.7%
(管理職合計66人中13人)

(3) 地域の企業等の持続性に関する貢献

- 「全国で活躍する公認会計士×SDGs（シリーズ動画）」の第4弾を掲載

(2) 地球温暖化対策

- ネットゼロ達成に向けたロードマップについて、2025年3月末までの1年間のデータを公表
- 会館リニューアルに際し、「建築環境総合性能評価システム」（CASBEE）において「評価Aランク」の認証を得て、CASBEE建築評価認証書を取得
- CASBEE-WO（ウェルネスオフィス）において「評価Sランク」の認証を得て、CASBEEスマートウェルネスオフィス評価認定書を取得

(4) 会計教育活動

- 金融経済教育など他の取組とも連携し活動を強化するために幅広いステークホルダーと連携

●●信頼の力を未来へ
jicpa

◆日本公認会計士協会